

「曲の特徴に注目し、よさを味わって聴こう」 ～何百年も聴き続けられる魅力を探ろう～

本題材で育成する資質・能力

知識、振り返る力、他者理解

題材について

本題材は、交響曲第五番ハ短調を教材とした鑑賞の学習を行う題材である。学習指導要領の次の事項を指導するため設定した。

- ・ B 鑑賞ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。
〔共通事項〕 音色、リズム、旋律、形式、構造

まず、アに示されている「音楽を形づくっている要素や構造と曲想の関わり」について、オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式などの要素や構造と曲想の関わりを理解し、関わらせながら、曲のよさを味わうことができる。また、ベートーベンの交響曲には、彼の生き方や考え方、音楽に対する深い思いが表れている。聴力を失ったベートーベンの苦悩との闘いと、それを乗り越えていく激しく力強いエネルギーを、音楽から感じ取ることにより深く音楽を理解し、味わうことができる。

本題材は、オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、曲の構成などと、曲想の関わりを理解して聴き、根拠をもって音楽のよさを深く味わい、魅力を探ることができると考えられる。また、知覚・感受したことから曲の価値や曲の魅力を対話的な活動を通して、さらに学習の深まりを感じることができると考え、本題材を設定した。

生徒の実態

本学級の生徒は、鑑賞の題材では、1学期に「フーガト短調」の曲の特徴を感じ取り、聴きどころを伝える紹介文を書いた。知覚と感受を結び付けて書くことができるワークシートを活用したが、紹介文を書くときに難しさを感じる生徒がいた。2学期は、リコーダーで演奏している「いのちの名前」の作曲家自身が伴奏している歌を鑑賞し、演奏のよさや美しさを味わい、自分の言葉で感じたことを書くことができた。また、自分の演奏にどのように生かすかを考えることを学習した。

また、鑑賞についてのアンケートで、鑑賞することが好きな生徒は88%、曲の感じとその変化などを感じながら聴いている生徒も88%であった。しかし、鑑賞をするとき「音楽を形づくっている要素」のかかわり合いを感じながら聴いている生徒は80%、聴きとったことや感じ取ったことを言葉で表現したり、文章でまとめることができると感じている生徒は82%であった。

そこで、学習指導要領〔共通事項〕より、ア「音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えること」をねらいとし、言葉で表現したり、文章でまとめる活動に取り組ませたい。

題材の指導

指導にあたっては、音楽的な見方・考え方を働かせながら、曲の構造と曲想の関わりを知覚・感受させたい。また、言葉で表現し、文章でまとめようとする過程で、知覚・感受したことを整理し、曲に対する評価とその根拠について考え、解釈をより深めさせたい。そのために、思考ツールを活用し、知覚・感受したことを整理してから根拠をもって曲の魅力をまとめさせたい。

また、自分なりの考えをもつとともに、自分とは異なる他者の考えにも耳を傾けるなどして、他者との関わりの中から自分の価値意識を再確認し、自分としての考えを一層深めながら、対話的で深い学びに結び付けさせたい。

題材の目標

○オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組むことができる。

【音楽への関心・意欲・態度】

○オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じることができる。

○知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批判するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

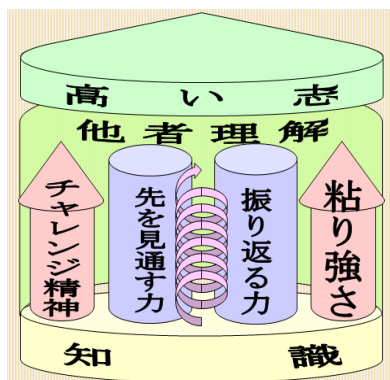
【鑑賞の能力】

単元の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 鑑賞の能力
①オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

育成しようとする資質・能力の本単元とのかかわり

本校が身につけさせたい7つの力



〈高い志〉

〈知識〉

○学習活動に必要な楽曲について知る。

〈振り返る力〉

○学習したことを振り返り、よりよい解釈や価値、伝え方を考えることができる。

〈先を見通す力〉

〈チャレンジ精神〉

〈粘り強さ〉

〈他者理解〉

○自分の考えをよりよいものにするため、他者の考えを柔軟に受け入れることができる。

指導と評価の計画

次	学習内容（時数）	評価					
		関	創	技	鑑	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
1	課題の設定						
	○ 交響曲第5番ハ短調より第一楽章を味わいながら聴き、「この曲がなぜ何百年も聴き続けられる魅力を探る」ことを知る。						
	○ 第一楽章の冒頭部分を聴き、気付いたことや感じたことを意見交流し、共有する。						
	情報の収集①						
1	○ 作曲者や楽器、楽曲についての知識や曲の特徴を知る。						
	・ ベートーベンの生涯を知る。						
	・ 演奏楽器について知る。						
	・ 曲の特徴や構造について理解する。						
1	情報の収集②						
	○ 第一楽章を鑑賞し、曲の特徴について得た知識と曲を結び付ける。	◎				ア①	知識 (ワークシート)
	・ 第一楽章を鑑賞しながら、作曲者楽器や曲の特徴について得た知識と曲を結び付け、知覚・感受したことをワークシートにまとめる。					(観察・ワークシート)	
	(1/4時間)						

2	情報の収集③整理・分析① ○ 何百年も聴き続けられる魅力を探る。 - 第一楽章を部分的に聴き、オーケストラの響き、動機のリズムや主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を曲の魅力と関わらせながら知覚・感受したことをワークシートにまとめる。 ○ グループで意見交換をし、他者の意見を参考に再度まとめる。 - それぞれがまとめたものを各グループで交流し、各グループ内でよかったものを全体に発表する。 - 共有したことなどを参考にしながら、深まった解釈や価値観をもとに知覚・感受したことを再度まとめる。 (2/4時間)	○			◎	ア①, イ① (観察, ワークシート)	他者理解 (観察・ワークシート) 振り返る力 (ワークシート)
	○ 何百年も聴き続けられる魅力を探る。 - ベートーベンの生涯と曲を関わらせながら魅力を探る。 - 第一楽章全体を聴き、オーケストラの響き、動機のリズムや主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を曲の魅力と関わらせながら知覚・感受したことをワークシートにまとめる。 ○ グループで意見交換をし、他者の意見を参考に再度まとめる。 - それぞれがまとめたものを各グループで交流し、各グループ内でよかったものを全体に発表する。 - 共有したことなどを参考にしながら、深まった解釈や価値観をもとに知覚・感受したことを再度まとめる。 [本時] (3/4時間)	○			◎	ア①, イ① (観察, ワークシート)	他者理解 (観察・ワークシート) 振り返る力 (ワークシート)

3	まとめ・表現・振り返り 【曲のよさや魅力を味わう】 ○ 何百年も聴き続けられる魅力をまとめる。 ○ まとめたワークシートを班で交流し、意見交換をする。 ・ それぞれがまとめたものを各グループで交流し、意見交換をする。 ○ 振り返りをする。 ・ 活動全体を振り返り、自分の考えた曲の魅力を再度確認し、探ることができたか、活動全体を振り返る。 (4/4 時間)				◎	ア①, イ② (観察, ワークシート)	他者理解 (観察・ワークシート) 振り返る力 (ワークシート)
---	---	--	--	--	---	------------------------	---

本時の学習（3／4 時間）

（1）本時の目標

オーケストラの響き、動機のリズムや主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、ハ短調、ソナタ形式を知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て（◆）	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
1 本時の課題を把握する。（10分）			
○ 前時の復習をする。	◇ 作曲者の生涯や曲の特徴について復習する。		
○ 本時のめあてを確認する。			
音楽的な見方・考え方をし、何百年も聴き続けられる魅力を探ろう			
2 課題に取り組む（20分）			
○ 第一楽章を聴き、曲の魅力を意識しながら知覚・感受したことをワークシートに記入する。	◇ 曲の魅力を意識しながら曲の特徴や構造と曲想を関わらせて、第一楽章を聴き、知覚・感受したことをワークシートにまとめる。 ◆ 知覚・感受したことや気づいたことをワークシートに記入しづらい生徒については、次のような支援を行う。	ア①、イ① （観察、ワークシート）	

○ ワークシートに記入したことを班で意見交流し、よりよい意見を選んで全体に発表する。	曲の特徴を示し、どのようになっているかアドバイスを行う。 ◆「音楽を形づくっている要素」の言葉の例を提示し、自分の感じたことと近い言葉を選んで記入させる。 【対話的な学習場面】 それぞれがまとめたものを各グループで交流し、班でよりよい意見を選び、全体に発表する。		他者理解 (観察・ワークシート)
3 本時のまとめをする。(10分)			
○ 意見交流したことを参考にしながら、再度、第一楽章を聴き、ワークシートに書き加える。	◇ 再度、第一楽章を聴き、深まった解釈や価値をもとに知覚・感受したことをワークシートに書き加える。		
【「概ね満足できる」状況（B）と判断する根拠】 ○ 曲の魅力と関わらせながら知覚・感受している。 (記述の例) 動機のリズムが続くと何かに追われているような恐怖感がある。 曲の始めや曲が強くなっているところで弦楽器の弾き方がそろっていて迫力がある。			
【「十分満足できる」状況（A）と判断する根拠】 ○ 曲の魅力作曲の特徴と関わらせて知覚・感受したことをまとめることができる。 (記述例) 曲の中で使う楽器の組み合わせや種類を変えることで、同じような旋律でも雰囲気が変わり、いろいろな場面を想像することができる。 ハ短調にすることで、ベートーベンが難聴になりながらも作曲した運命を感じさせるような悲しみが伝わるように表現されている。			
【「努力を要する」状況（C）と判断する生徒への手立て】 音楽を形づくっている要素についてどのような言葉を使えばいいか例を提示し、自分の言葉で感じたこととどうしてそう思ったのかを記入させる。			
4 振り返り・次時の課題の設定(10分)			
○ 本時の学習を振り返る。	◇ ワークシートを見直すことで、曲の魅力を確認する。		振り返る力 (ワークシート)
(予想する生徒のまとめ) 音楽を深く聴くことで、なぜ何百年も聴き続けられるのか理由を探ることができた。			
○ 次時の学習内容を確認する。			

(3) 板書計画

本時のめあて

音楽的な見方・考え方をして、
何百年も聴き続けられる魅力を探ろう

本時の予定

鑑賞

ワークシート記入

意見交流

まとめ・振り返り

曲の特徴

～作曲者の生涯と曲の特徴に注目して感じ取ろう～

ベートーベンの生涯

オーケストラの響き

動機や主題の反復や変化

旋律の組み合わせ方

ハ短調

ソナタ形式

本時のまとめ

音楽的な見方・考え方をする
と、何百年も聴き続けられる
魅力に気付くことができる。